

## これまでの影響と対応方向

### 【影響】

輸入材の価格高騰や供給不足が顕在化（ウッドショック）

輸入材から国産材に転換する動きが活発化する中、道内の一部製材工場では原木不足

輸入材の代替需要に対する供給の見通しが立たず、住宅着工の停滞が懸念

### 【対応方向】

#### 1. 原木の安定供給

原木の不足感が続く中、原木の安定供給に迅速に対応

#### 2. 道産建築材の安定供給体制の強化

品質の確かな道産建築材の供給体制整備

## これまでの取組

### 1. 原木の安定供給

(1) 森林管理局や道森連と連携し、需給状況を踏まえた原木の安定供給に対応

- ・道有林では、立木販売の入札時期を前倒しし、10月末までに全量を販売済み
- ・買受事業者に対し早期伐採の働きかけ

(2) 連絡会議を活用した需給情報の共有

- ・4月・8月・11月の3回開催

### 2. 道産建築材の安定供給体制の強化

(1) 供給マッチング

- ・7月プレカット工場・工務店のアンケート調査実施
- ・9月個別聞き取り調査実施
- ・10月プレカット工場と木材産業との意見交換実施（プレカット工場）

乾燥等の品質が確かであれば利用したい など（製材工場）

単社では困難、体制を整えれば供給可能 など

- ・11月プレカット工場が求める部材調査

(2) 生産体制の構築

- ・業界団体が中心となり、乾燥機の共同利用など今後の生産体制のあり方を検討

## 今後の対応

### 1. 原木の安定供給

(1) 連絡会議の開催

- ・原木の在荷量や流通等の状況について共有
- ・原木の道内外からの需要動向を踏まえた対応について検討

(2) 関係機関等と連携した取組継続

- ・引き続き、北海道森林管理局や道森連と連携した原木の安定供給に向けた取組実施

### 2. 道産建築材の安定供給体制の強化

(1) 供給マッチング

- ・プレカット工場の調査結果を製材工場に提供し、道と道木連が連携してプレカット工場や工務店とのマッチングを図る

(2) 生産体制の構築

- ・乾燥機の共同利用など、業界団体が検討を進める今後の生産体制のあり方を踏まえた具体策の推進

品質の確かな道産建築材生産に向けた施設整備への支援など

### 《参考データ》

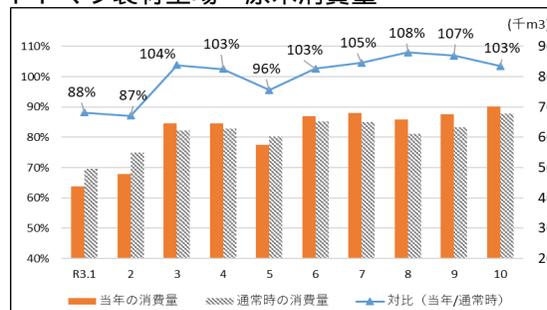
#### 道内製材価格

単位：円/m3

区分	R3.4月	R3.10月	備考
トドマツ	67,800	82,300	人工乾燥
杣ウッド	78,000	124,000	欧州産

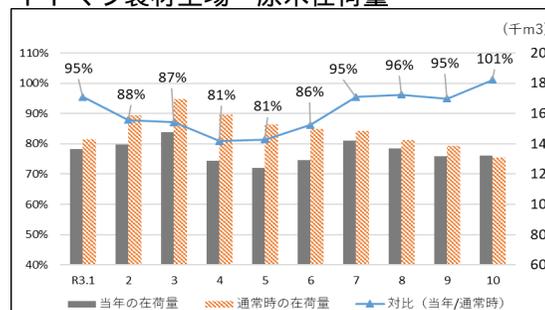
(北海道水産林務部林業木材課「木材市況調査」)

トドマツ製材工場 原木消費量



〔通常時〕とはコロナ禍前5か年平均

トドマツ製材工場 原木在荷量



(北海道水産林務部林業木材課「製材工場動態調査」)